看護職員等処遇改善事業補助金の対象職種に薬剤師を追加することについて（要望）

「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」（令和3年11月19日閣議決定）に基づき、地域でコロナ医療など一定の役割を担う医療機関に勤務する看護職員を対象に、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、収入を1%程度（月額4,000円）引き上げるための措置を、令和4年2月から前倒しで実施するために必要な経費を都道府県に交付することとされました。

賃金改善の対象となる職種は、看護職員（看護師、准看護師、保健師、助産師）とされ、医療機関の判断により、看護補助者、理学療法士・作業療法士等のコメディカルの賃金改善に充てることが可能とされています。

病院は新型コロナウイルス感染症チーム医療で対応しており、すべての職種が関わっています。しかしながら、「看護職員等処遇改善事業補助金に関するQ&A（第2版）」では、「医師、歯科医師、薬剤師については、本補助金による処遇改善の対象に加えることはできません。」とされています。

医療経済実態調査における一般病院全体の薬剤師の平均給与（月換算）は45.8万円（※）であり、看護職員の42.2万円と比較して、金額に大きな差はありません。

つきますに、賃金改善の対象となる職種に薬剤師も加えていただくことを要望いたします。

*第23回医療経済実態調査（医療機関等調査）報告 令和3年実施（中医協令和3年11月）資料より算出